人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者ま で直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料 (例:血液など) や診療情報(例:カルテの情報など) をこの研究に使ってほし くないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さ 61°

≪試料・情報 | ●研究の名称

び利用方法≫

の利用目的及一高悪性度肺神経内分泌がんにおける、運命制御転写因子の臨 床病理学的特徴と治療反応性・予後との関連の後向き検討

●研究の対象

1990 年~2020 年までで、当院及び共同研究機関におい て、組織学的に高悪性度肺神経内分泌がんと診断された方。

●研究の目的

肺がんは、癌死の最多原因であり、とりわけ高悪性度肺神経 内分泌がんの代表である小細胞がんは最も予後不良な肺がん の組織型として知られています。小細胞肺がんにおけるマス ターレギュレーターと呼ばれる転写因子の発現プロファイル による分類が最近提唱され、これが今後の小細胞肺がんの個 別化医療と治療成績の向上につながる可能性が期待されてい ます。しかしながら、各レギュレーターの役割や、その発現 の有無による治療反応性や予後への影響は明らかではありま せん。また、小細胞肺がんと同様に神経内分泌分化を特徴と する大細胞神経内分泌がん(Large cell neuroendocrine carcinoma: LCNEC) については、さらに臨床的・基礎的な 知見に乏しく、上記の小細胞肺がんにおける運命制御転写因 子の発現プロファイルがそのまま LCNEC に適用できるかは わかっていません。

本研究は、高悪性度肺神経内分泌がんの採取済み検体組織 を利用し、各運命制御転写因子とそれに付随する重要なタン パク質の発現状況を明らかにし、臨床病理情報と照らし合わ せて解析を行う後ろ向き研究です。本研究により、高悪性度 肺神経内分泌がんの病態の理解を深めることを目的としま す。

●研究の期間

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

研究機関の長による実施承認日から2025年10月まで。 ●他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。 ≪利用し、又 | ●研究に使用する試料・情報 は提供する試 | 試料:採取済み病理検体 料・情報の項 情報:病歴、治療内容等 目≫ ≪利用する者 | ●機関名および責任者名 の範囲≫ 国立大学法人浜松医科大学 須田隆文 呼吸器外科 渡邊拓弥 聖隷三方原病院 静岡県立総合病院 呼吸器内科 朝田 和博 病理診断科 大西 一平 磐田市立総合病院 藤枝市立総合病院 呼吸器内科 松浦 駿 ≪試料•情報 の管理につい 国立大学法人浜松医科大学 須田隆文 て責任を有す る者の氏名又 は名称≫ ≪試料・情報 | あなたの試料または情報を研究に使用することを望まない場 の利用又は他一合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使 の研究機関へ「用や提供を停止することができます。連絡方法は、問い合わ の提供の停止しせ先に記載のある電話もしくはメールでお願いします。 (受付方法含 む)≫ ≪資料の入手 | この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応 または閲覧≫ じて資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研 究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨 をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない 範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望 された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の 提供または閲覧はできません。

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

>>

≪情報の開示│あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望さ れる場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則 的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望され ない場合は、開示いたしません。

> また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合 は、原則的に結果を開示いたしません。

先≫

浜松市中央区半田山一丁目 20番1号

浜松医科大学

部署名: 医学部附属病院第二内科診療科群

担当者: 井上 裕介

TEL: 054-435-2263

E-mail: yinoue@hama-med.ac.jp